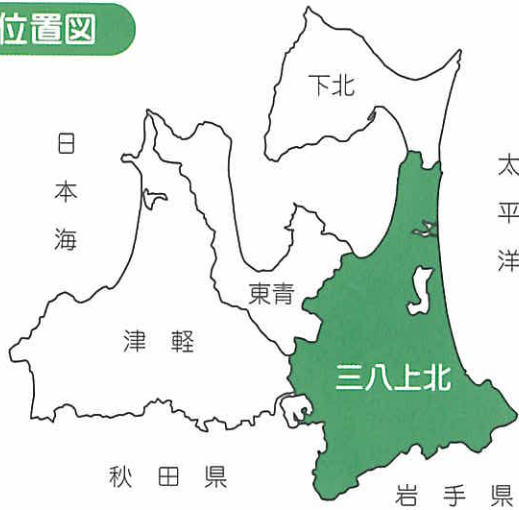




# 第5章 流域別施策の基本方向

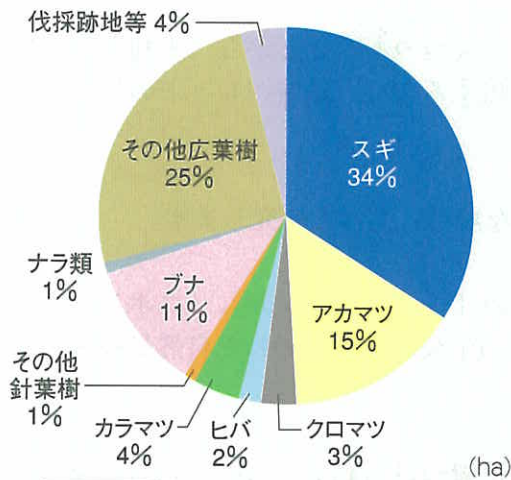
## 4 三八上北流域

位置図



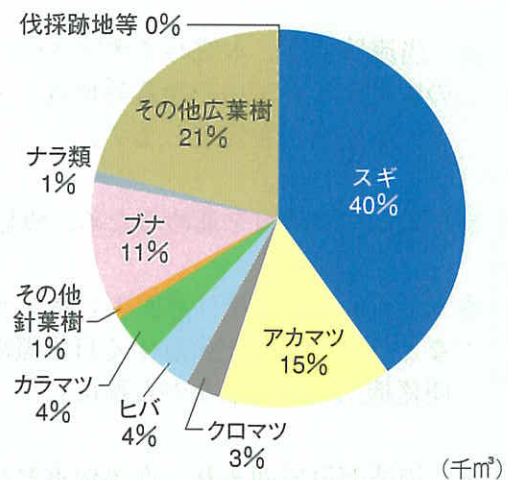
項目	数値
総面積	336,406
森林面積	192,190
森林率	57.1%
国有林面積(率)	81,286 42.3%
民有林面積(率)	110,904 57.7%
人工林面積(率)	97,368 50.7%

樹種別森林面積



樹種	面積
スギ	64,972
アカマツ	28,475
クロマツ	6,184
ヒバ	4,551
カラマツ	7,279
その他針葉樹	2,579
ブナ	20,565
ナラ類	1,770
その他広葉樹	48,774
伐採跡地等	7,041
合計	192,190

樹種別森林蓄積



樹種	面積
スギ	11,875
アカマツ	4,297
クロマツ	1,009
ヒバ	1,062
カラマツ	1,300
その他針葉樹	260
ブナ	3,080
ナラ類	240
その他広葉樹	6,168
伐採跡地等	5
合計	29,296

- 当流域は、十和田・八甲田の火山噴出物による軽石などで構成されている脆弱な丘陵地や台地が多く、降雨等による土砂の流失・崩壊を受けやすいことから、山地災害防止のための森林の整備・保全を推進します。
- 春先の乾燥期に山火事の発生件数が多いことから、森林火災予防巡視員等によるパトロールの強化、山火事予防の普及啓発に努めます。
- 当流域の森林は、民有林比率が高くすぎ、アカマツなどの人工林の占める割合が高いことから、これらの適切な保育管理はもとより、ケヤキ、エンジュ、クリなどの有用広葉樹の植栽やヒバの樹下植栽等による複層林造成など多様な森林の造成に努めます。
- スギ、アカマツの積極的な利用を促進するために、「青森スギ」、「青森アカマツ」ブランドの確立を目指します。
- なだらかな地形が多く、高性能林業機械を使った作業が容易であることから、機械の搬入に必要な林道・作業道などの基盤整備や機械を使った効率的な森林施業の確立を目指します。
- 素材の流通については、十和田木材流通センターを中心として、情報技術（IT）活用や直送システムの構築等合理化を推進し、製材品の流通については、今後、スギ製材品の増大が見込まれることから、消費者ニーズに対応した高性能・高品質な製品の供給体制の整備を促進します。
- 県内でも有数のなめこ生産地である田子町を中心に、安定した生産量を確保するため、原材料の安定供給、生産施設の整備充実、流通体制の強化に努めます。
- 冬期間の積雪が少なく、日照量が多いことから、葉枯し、天然乾燥、人工乾燥などを組み合わせた効率よい乾燥システムの確立を図ります。
- 上北森林組合を基幹として、丸棒や内装材など、消費者のニーズに対応した木材の高次加工による付加価値の高い製品開発を推進します。
- 三戸町の「SUNSUN産直市場」や新郷村の「間木の平グリーンパーク」等の産地直売施設や三戸町の「ウッドロフト貝守」等の林産加工品製造施設などを活用し、地域資源の加工販売を通じた地域の活性化を図ります。
- 八戸市や三沢市の「市民の森」や水源の森百選に選ばれた田子町の「町民の森」など、地域に親しまれている森林が多いことから、森林ボランティアや市民参加による整備を進め、都市と山村の交流を図ります。
- 地域林業の中核となる森林組合の育成のため、より効率的・合理的に地域全体を管理運営することを目的とした広域合併を進めます。